

アルコールクス・アノニマス®

Alcoholics Anonymous®

アルコールクス・アノニマス は、経験と力と希望を分かち合って共通の問題を解決し、ほかの人たちもアルコールリズムから回復するように手助けしたいという共同体である。

・AAのメンバーになるために必要なことはただ一つ、飲酒をやめたいという願っただけである。会費もないし、料金を払う必要もない。私たちは自分たちの献金だけで自立している。

・AAはどのような宗教、宗派、政党、組織、団体にも縛られていない。また、どのような論争や運動にも参加せず、支持も反対もしない。

・私たちの本来の目的は、飲まないで生きていくことであり、ほかのアルコールも飲まない生き方を達成するように手助けすることである。

(この序文の著作権は A.A.グレイブバイン社にあり、その許可のもとにここに再録された。)

AA (アルコールクス・アノニマス) とは

AAとは、自ら飲酒問題があり、その飲酒のとらわれから解放されたいと願う人たちの自助グループです。“酒をやめたいという願っがある”ということだけがメンバーの条件であり、それ以外のことは一切問われません。

AAは 1935 年に米国のアクロンという町で、ニューヨークからこの地を訪れた証券マンのビルと地元の外科医であるボブとの出会いから始まりました。二人とも、どうしても自分の力だけでは酒をやめ続けることができなかつたのですが、たまたま二人が出会い、二人の共通の問題である飲酒に関する体験を語り合い、お互いが相手の手助けをしている間、飲酒欲求が取り除かれていた・・というのがその出発点です。

それから約 90 年たった現在、AAは今、世界で 180 以上の国と地域に広がり、220 万人以上のアルコールがAAで回復を続けています。日本でも 1975 年に日本語によるAAミーティングが始まりました。

(在日外国人によるAAミーティングは戦後間もなく東京で行われていました。)

現在では、ほぼ日本全国に広がり、約 600 のグループがミーティングを開催しており、約 5000 人近いメンバーが活動しています。

【 AAがしないこと 】

1. アルコールクスに対して勧誘や回復へと導く動機づけ。
2. メンバーシップや事例の記録。
3. メンバーの追跡調査や管理。
4. 医学的または心理学的な診断や予後診断。
5. 入院や投薬、医学的あるいは心理学的な治療。
6. 住居や食料、衣類、仕事、金銭その他社会福祉サービス。
7. 家庭相談、職業相談。
8. 委託研究、あるいはそれに携わること。
9. 社会福祉機関と従属関係をもつこと(しかし、多くのメンバーやサービスオフィスはそれらの機関に協力している)。
10. 宗教的サービスの提供。
11. アルコール、その他の問題についての論争に参加する事。
12. AAのサービスに対して報酬を受け取ることや、外部からの寄付を受け取ること。
13. 更生保護委員会や弁護士、裁判所、学校、企業、福祉機関、その他の機関や施設に参加者の情報を提供すること。
(A.A.W.S)の許可のもとに、「AAグループ」2015年11月改訂版49頁より再録)

※セントラルオフィスは、飲酒問題に関する医療相談やカウンセリングの窓口業務は行っておりません。
AA ミーティングの会場のご案内を業務とする情報センターです。

《 アノニミティについて 》

AAに足を運んできた人の個人のプライバシーは確実に守られるよう、私たちはお互いに最大の努力を払っている。お互いのプライバシーを守る約束も、アノニミティの意味の一つであり、AAミーティングで一人一人が自分の飲酒のトラブルにまつわる話ができるのも、そこで話された個人の秘密を私たちは明かさなからである。

私たちは、そこで分かち合われた回復の話だけを自分のものにしていく。グループの中では、自分の姓名を名乗ることも、連絡先を教えることも、一切明かさなから、その人の自由である。どこまで自分のプライバシーを明かすかは自分で決められる。

(グループでのアノニミティ)

AA 関東甲信越セントラルオフィスとは

AA 関東甲信越セントラルオフィスは、関東甲信越地域内の「まだ苦しんでいるアルコールクスにAAメッセージを伝える」という共通の目的に対して、地域のAAグループを援助するために存在しています。

アルコールクスがAAに助けを求めて最初に電話をかける場所、関係者がAAに連絡をとるための窓口として1993年1月に開設されました。

地域内のAAグループが、“まだ苦しんでいるアルコールクスにメッセージを運ぶ”という目的を達成するための支援業務を行います。

セントラルオフィスは、地域の各AAグループ並びにAAメンバーからの献金によって運営されています。

【 AA 関東甲信越セントラルオフィスの支援業務 】

◎本人への対応

*回復が可能であることを伝える。

*AAの概略を説明し、ミーティング場の案内をする。

◎家族への対応

*回復が可能であることを伝える。

*AAの概略を説明し、ミーティング場の紹介をする。

◎専門家との協力

*医療、福祉保健関係等の専門家にAAのことを正しく伝える。

*専門家から照会された本人と、AAグループとの橋渡し。

*専門家からのAA紹介、説明の依頼に応じる。

◎グループ・メンバーとの連絡

*各グループ・グループメンバーからの連絡事項を中継する。

*JSO及び各地域セントラルオフィスとの連絡及び情報交換。

◎AA書籍の頒布、発送

◎バースディメダルの頒布、発送